

Sudden Fiction Project Guide

hirotakashina

SFPノート-1

2011年7月1日。これからたくさんの作品を公開します。1日1篇ずつ、約1年間毎日作品をアップします。しかもほとんどの作品は無料で公開します。

クリエイティブ・コモンズに準じるので、元作品のクレジットをきちんと表記していただければ、転載や朗読などの上演、劇団の稽古場でのテキスト、舞台化や映像化などにも自由にご活用ください。

元作品のクレジット表記って何をどうすればいいのかって？

それを理解していただくためには、まずSudden Fiction Projectについて簡単に説明をしなくてはなりません。

Sudden Fiction Projectは2005年の12月にmixiで始まりました。「もらったお題を作中のどこかに必ず登場させる」というルールだけ決めて、お題を募集。最初は日頃から読みにきている、いわゆるマイミクシィの方を中心に、そのうちそのまた友達や、偶然見つけた方などからもお題をいただき、目標の100篇まではほぼ1日1篇のペースで書き進めました（100篇到達に120日程度かかりましたが）。

短いことば遊びうたのようなものもあれば、落語や漫才や演劇の台本のようなもの、超短編小説などいろいろで、内容も泣けるもの笑えるものこわ〜いものなどもりだくさん。第2期、第3期と書き進めるうちに311篇となりました。

ひとりで書こうとしていたらたぶんこれらの作品は絶対に書けませんでした。これらの作品は作者が一人で書いたものとは思っていません。お題をいただいて始まるわけですから、まず出題者が作品の最初のきっかけをつくります。書く方も、出題者を具体的な読者に想定して書きます。このお題からどんな話が生まれたら出題者は喜んでくれるだろうか、驚いてくれるだろうか、一方で1日1篇というルール（苛酷でした！）のもと、ほとんど即興的に書き上げるので、どの作品も書いている本人も予想ができない内容になりました。

そして、mixiを利用している方はごぞんじのように、コメント欄にたくさんの人から感想を寄せてもらうことで、それを励みに書き続けることができました。これは非常に貴重な体験でした。「作者が一人で書いたものとは思っていません」というのはそういうことです。

クレジットとしては、パブーのどの作品とクレジットしていただくのが最も簡単ですが、もしもテキストをコピーしたりする場合には、文末にある次のようなクレジットまで、必ず表示してください。

（「（お題）」 ordered by （出題者名）-san/text by TAKASHINA, Tsunehiro a.k.a.hiro）

また、朗読や上演などに際して、テキストを改編して利用する場合は、上記のクレジット作品を
改変した旨を書き添えてください。もっと詳細な内容についてはクリエイティブ・コモンズのサ
イトの、次のページをご覧ください。

「クリエイティブ・コモンズ 表示-継承2.1 日本(CC BY-SA 2.1)」

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.1/jp/>

* * *

第3期を終えていまは休止中ですが、せっかく300篇を超えているので、1日1篇で1年分、つま
り365篇、もしくはうるう年のために366篇までは伸ばしたいとも考えています。近い将来、パブ
ーを通じてお題募集をかけることも考えていますので、どうぞお楽しみに。